

## 【教育研究環境の概要】

### 1. キャンパスの概要

本学は、愛知県名古屋市の南東部に隣接した大府市に所在し、JR 東海道本線名古屋駅から大府駅まで約12分で、比較的利便性の高い立地環境にあります。JR大府駅・名鉄知立駅からは、大学までスクールバスが運行しており、学生の通学手段を確保しています。大府駅からは、朝の通学時間帯は約10分間隔で運行しています。

周辺環境としては、西側は国道(366号線)に面しており、自動車を利用すれば伊勢湾岸道路、名古屋高速道路、東名高速、名阪高速などへの乗り入れの総合インターチェンジがあり、アクセス環境には恵まれています。また、キャンパスの南側には大府市の二ツ池自然都市公園が隣接し、高台の立地と緑と池に囲まれた、落ち着いた景観は修学環境に適しています。

校地面積は約84,726㎡を有しており、校地北西側には校舎棟を中心に各種の建物が配置され、南東側にはスポーツサイエンスセンター(体育館機能を有する)を始め陸上競技場等の課外活動施設も整備されています。

### 2. 校舎の概要

本学の校舎は、11棟の建物が配置されており、総校舎面積は約33,862㎡で、設置基準上の面積を充足しています。

本学では、学校法人の建学の理念「人間力の涵養」と大学教育理念である「人間力の形成」の下、学部・学科及び研究科の教育目標を達成するために、安全性と機能性を重視した中で施設・設備の整備に努めています。

学生生活を支援する施設は、学生食堂、学生談話室、ラウンジ、コンビニエンスストア、学生会室、学生進路支援室、保健室、学生相談室、学生寮等の設置をしています。

### 3. 運動施設の概要

本学では、運動場等として第1体育館、第2体育館、スポーツサイエンスセンター(第1アリーナ、第2アリーナ、第3アリーナ、武道場、弓道場)に加え、プール(25m×6コース)、グラウンド、野球場、多目的グラウンド、テニスコート等を備えています。これらの運動用施設・設備は、各学科の専門教育科目における運動・実技・指導法、健康運動学、運動と栄養を中心とした分野や現代教養科目における運動実技等に供するとともに、学生の課外活動にも広く利用されています。

昨今では、これらの施設のLED化を進める等、より活用し易い環境整備へブラッシュアップしています。

### 4. 休息を行う環境等

学生の休息、その他の利用のための整備状況については、学生ホール(学生食堂)に隣接した野外施設(プラザ：パラソル、テーブル、椅子の設置)が設置、また図書館横には、学生の憩いの場として、平成24年の夏に建った学歓ホール(コンビニエンスストア、談話室、同

窓会室等を付設)を備えています。その他、キャンパス内には、憩のためのベンチを各所に設置しています。なお、本学は災害時の広域避難場所として大府市の指定を受けており、運動場はその受け入れの中心的な場所となっています。また、災害時の万全な対応を目的とし、防災倉庫をグラウンドと第一体育館1階東側外に備えています。

## 5. 図書館

本学図書館は、昭和 58 年 11 月にコミュニケーションセンターとして建設されたもので大学(大学院を含む)と短期大学部との共用で一体運営がなされており、令和 3 年 3 月末現在の図書館資料は表のとおりです。

表 図書館資料数

区分	種類 図書の冊数	定期刊行物の種類		視聴覚資料
		内国誌	外国誌	
大学	148,151	570	257	3,369
短期大学部	33,809	96	31	921
合計	181,960	666	288	4,290

図書館資料は、教養分野のほか、体育・スポーツ・医学・健康に関する分野、栄養・食品・保健・衛生に関する分野、子どもの発達・子どもと社会環境・子どもと文化等児童学に関する分野、教育・教職に関する分野など大学院、学部・学科の専門に関する資料等を所蔵しています。

図書館所蔵資料約 18 万 5 千冊のうち、専門図書、教養図書及び参考図書など約 6 万冊と学術雑誌(和雑誌 103 誌、外国雑誌 13 誌)のカレント版を開架書棚に配架し、それ以外の図書、製本雑誌及び視聴覚資料は書庫に配架されています。

図書館内には、閲覧室、視聴覚室、視聴覚資料室、書庫があり、閲覧室の座席数は 171 席で収容定員に対する座席数の割合は約 10%です。閲覧机は集中して学習できるようにキャレル式のを多く採用しています。

## 6. 耐震化の取組み

本学の耐震化率は、100%です。(2020 年 4 月 1 日現在)

- ① 新築年月日が 1981 年 7 月 1 日以降の建物(面積) 16,717 m<sup>2</sup>
- ② 新築年月日が 1981 年 6 月 30 日以前の建物(面積) 16,101 m<sup>2</sup>
- ③ ②の内、耐震性能を有している建物(面積) 16,101 m<sup>2</sup>
- ④ 延床面積合計 32,818 m<sup>2</sup>
- ④耐震化率 (①+③)÷④×100=100%

それぞれの所要面積は、日本私立学校振興・共済事業団の「私立学校校舎等実態調査」に基づき算出しています。

## 7. 学内 PCR 検査の実施

本学では、至学館診療所（学内診療所）を開設し、令和2年度10月より新型コロナウイルス感染症対策の一環として、全学生・教職員及び関係業者様等を対象に、PCR検査を開始しています。これは学生をはじめ、学園関係者がより安心して学業・課外活動・職務に邁進出来る環境整備を主な目的としています。

以上